



こどもとしょかんだより

45号

No.45 平成 29 年 4 月 1 日 磐田市立図書館 番 32-5254 (中央)
ホームページアドレス <http://www.lib-iwata-shizuoka.jp/>



あ め

雨の本

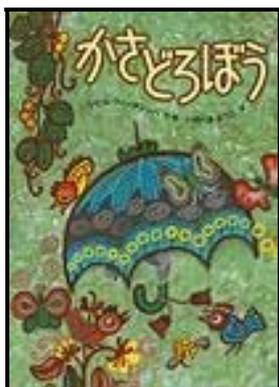


あめ ひ 雨の日はつまらない?でも、あめののみず 雨は飲み水として、また、しょくぶつ そだ 植物が育つためにとても大切で、なくてはならないものです。あめ ひ たの 雨の日が楽しくなるような本を集めました。



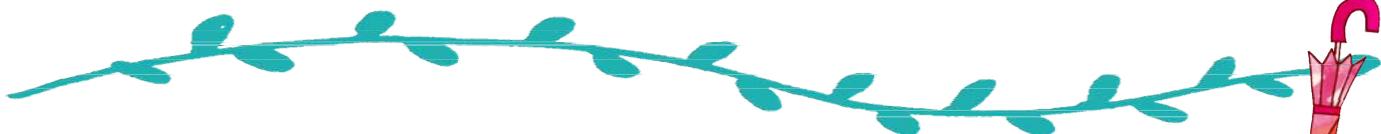
『かさどろぼう』

シビル・ウエッタシンハ/作・絵 いのくま ようこ/訳 (徳間書店)



むかし、スリランカにちい 小さな村がありました。その村の人たちは、かさをみたことがありませんでした。村に住むキリ・ママおじさんは、生まれてはじめてまち へ出かけ、かさをみました。すてきなかさを買ったキリ・ママおじさんは、うれしくてたまりません。どうやってみんなに見せびらかそうかと考えます。しかし、バスていのそばのお店 みせ でおしゃべりをしている間に、かさがなくなってしまいました。なんどか 何度買っても、かさはなくなってしまいます。

そして、ついにかさどろぼうをみ 見つけます。かさどろぼうは、だれだったのでしょうか。



あめ りゅう
『雨をよぶ龍』
ねん あま ぎょうじ
4年にいちどの雨ごい行事

秋山 とも子/文・絵
(童心社)



あめ
『雨、あめ』

ピーター・スピーアー/作
(評論社)

「雨ごい」とは、あめ 雨がふるようと かみさま 神様 ねが お願い することです。りゅう あめ 龍が雨をふらせてくれると しんじ 信じられてきたまち 町のおはなしです。

このえほん 絵本には もじ 文字がありません。でも、え 絵をみ 見ているだけでも、あね おとうと あめ いちいち たの 姉と弟が雨の一日を楽しんでいるようすがよく分かります。



あめ

雨



ふるやのもり
にほん むかしばなし
 ー日本の昔話ー
 瀬田 貞二／再話
 田島 征三／絵
 (福音館書店)



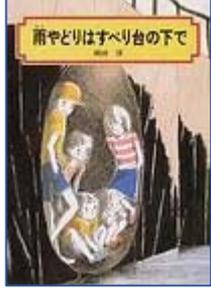
あめあめふれふれもつとふれ
 シャーリー・モーガン／文
 エドワード・アーディゾーニ／絵
 なかがわ ちひろ／訳
 (のら書店)

雨の日は、おうちでゆっくりと本をよむのもいいね！



ほら あめだ！
 フランクリン M.ブランリー／さく
 ジェームズ グラハム ヘイル／え
 やすなり てっぺい／やく
 (福音館書店)

雨は雲からふってくる。雲はどのようにできるの？雨はどのようにふってくるの？小さなぎもんに答えてくれる「みつけようかがく」シリーズの1冊です。



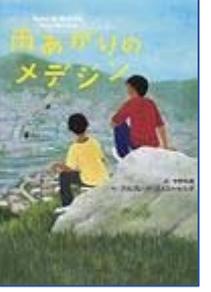
あま 雨やどりはすべり台の下で
 岡田 淳／作
 伊勢 英子／絵
 (偕成社)

公園のすべり台の下に雨やどりした一郎たち10人は、ここで近ごろ体けんしたふしぎなできごとを語りあいました。だれの話にも出てくるのは同じアパートに住むぞのおじいさん、雨森さん。雨森さんってまほうつかいかも？



あめ 雨ふる本屋
 日向 理恵子／作
 吉田 尚令／絵
 (童心社)

雨やどりに立ちよった図書館で、ルウ子はふしぎな古本屋「雨ふる本屋」にまよいこんでしまいます。面白い本がとどかなくなったという店主のフルホンさんを助けるために、ルウ子は物語が生まれる場所・ホッポリ森へとぼうけんの旅に出かけます。そこでルウ子が見つけたものとは。



あめ 雨あがりのメデジン
 アルフレッド・ゴメス＝セルダ／作
 宇野 和美／訳
 (鈴木出版)

しょうらいにゆめをもてず、メデジンの町をうろつくカミーロとアンドレス。二人はある理由から、新しくできた図書館には近づきません。しかしある日、図書館を近くで見て、中に入ってみたくになりました。そこで、どんな出会いが二人を待っていたでしょう。

